

ショートコメント

Galactic Archaeology

有本信雄(国立天文台)

(質疑応答 — Q:質問, A:回答, C:コメント — 氏名無しは発表者の発言, 敬称略)

(Q) PopIII が今まで生き残っているとすると、それは0.8太陽質量くらいと聞いたことがある。これほど暗いものを十分に分光できるのか？ (今西)

(A) 球状星団の中の恒星くらいなので、20等まで分光できるのであれば、大丈夫だと思う。

(Q) ”バルジにPopIIIが無いとは限らない”というのはimpressive。このような観点にもとづく観測はどのくらい行われているのか？ (長尾)

(A) [Fe/H] ~ -2.2が現在のレコード。数を沢山取るにはWFMOSが良いと考える。

(Q) Dark Energy と Galactic Archaeology を併せて800晩必要と聞くと、躊躇しなくもない。 (長尾)

(A) Dark Energy と同時ではなく、Dark Energy が完了してからでも構わない。

(C) インテンシブ・プログラムくらいでやるのが良いだろう。100万個の星を高分散で300晩だが、きちんと考える必要はある。どのような観測モードがデザインされているのか？にも依るだろう。 (千葉)

(C) 高分散無しも有り得る。その場合は銀河考古学 (Galactic Archaeology) に関しては、大したことはできない。(有本)

(C) 何100夜必要、何1000夜必要、という要求はどんどん出した方が良い。どのくらいの観測時間で何ができるかをしっかりと考えて行くべきだろう。